

弘前警察署の交通指導取締り重点路線・重点地区（令和7年7月～12月）

	重点路線・重点地区	指 定 理 由
1	国道7号	交通量の多い主要幹線道路であり、過去3年間における人身事故の発生件数が路線別で最多で、重傷事故が5件発生している。 高速度による重大事故の発生が懸念されることから、速度抑制の指導取締り及び交差点関連対策が必要である。
2	国道339号バイパス	過去3年間の下半期における重傷事故の発生はないものの、死亡事故が1件発生している。 板柳警察署との統合により延長された道路であり、重大事故の発生が懸念されるため、国道7号と同様の対策が必要である。
3	主要地方道弘前鱒ヶ沢線	過去3年間の下半期における人身事故発生件数は減少に転じたが、路線別の発生件数は2番目に多く、重傷事故が6件発生している。 また、交差点関連違反に起因する事故の発生が増加傾向にあることから、速度抑制対策とともに交差点関連対策が必要である。
4	県道石川百田線	過去3年間の下半期における人身事故の発生件数が増加傾向にある。 国道7号から弘前市内へ流入する路線であることから、速度抑制等の総合的な対策が必要である。
5	弘前駅前地区（駅前町、駅前、松森町、大町、土手町、和徳町）	発生件数は減少傾向にあるが、横断歩行者妨害に起因する事故の発生が管内別で最多である。同所は弘前駅や商業施設がある地域であり、信号無視や歩行者妨害に係る事故が増加傾向にあることから、交差点関連対策に重点を置いた取締りが必要である。
6	弘前城周辺地区（元長町、紺屋町、新寺町、親方町、土手町、鍛冶町）	人身事故の発生件数は増加に転じ、自転車が当事者となる事故の発生が増加傾向である。同所は商業施設や歓楽街があるため昼夜ともに交通量が多く、一時不停止や横断歩行者妨害に起因する事故の発生が認められることから、交差点関連違反に重点を置いた取締りが必要である。
7	西弘地区（文京町、樹木、北園、桔梗野、取上、城南、松原、中野）	人身事故の発生件数は減少に転じているものの、自転車が関係する事故の発生件数が多い。 同所は学校及び商業施設を抱えた地域であり、交差点関連違反に起因する事故の発生が多いため、交差点関連違反対策が必要である。
8	城東地区（高田、高崎、外崎、城東、扇町、早稲田、末広）	人身事故の発生件数は増加傾向であり、管内別で発生件数は1番多い。 国道7号や商業施設があることから昼夜ともに交通量が多く、事故の発生が懸念されることから、交差点対策に重点を置いた取締りが必要である。

※ 重点路線・地区以外の場所であっても、必要に応じて取締りを実施します。

弘前警察署の交通指導取締り方針（令和7年7月～12月）

	重点路線・重点地区	重点的に指導取締りを実施する違反種別							
		速度超過	信号無視	一時不停止	横断歩行者妨害	飲酒運転	携帯電話・シートベルト	通行禁止	自転車
1	国道7号	○	○						
2	国道339号バイパス	○					○		
3	主要地方道弘前鱒ヶ沢線	○	○				○		
4	県道石川百田線	○					○		
5	弘前駅前地区（駅前町、駅前、松森町、大町、土手町、和徳町）			○	○				○
6	弘前城周辺地区（元長町、紺屋町、新寺町、親方町、土手町、鍛冶町）			○	○	○			
7	西弘地区（文京町、樹木、北園、桔梗野、取上、城南、松原、中野）			○	○			○	○
8	城東地区（高田、高崎、外崎、城東、扇町、早稲田、末広）		○	○	○		○		

※ 重点以外の違反種別であっても、必要に応じて取締りを実施します。